

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画

■計画の期間 : H22～H26 (5箇年)

■計画策定主体 : 静岡県

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

1

計画の概要

計画の名称

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画

計画の目標

- ・ 溪間工、山腹工及び森林整備を行い森林の公益的機能を高め、山地災害の未然防止及び下流の漁場、農業用水施設への土砂流入を緩和する。
- ・ 林道等の路網整備を重点的に講じ、利用間伐による効率的かつ安定的な森林経営の基盤づくりを推進し、継続的な森林整備を促進する。

事業期間

平成22年度～平成26年度 (5年間)

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

2

<定量的指標> 山地災害防止機能等が確保・増進された区域の創設

区分	当初現況値	最終目標値	備考
① 治山事業	0 区域	1 4 5 区域	
② 森林整備事業（林道）	0 区域	1 1 区域	
③ 森林整備事業（造林）	0 区域	3 区域	
計	0 区域	1 5 9 区域	

山地災害防止機能等の確保・増進を図るための事業を159区域で実施

静岡県社会資本整備重点計画における位置付け

第2期重点計画（H20~H24）

		①治山事業	②森林整備事業（林道）	③森林整備事業（造林）
静岡県 社会資本 整備重点 計画	分野名	安全・安心	活力・交流	環境・景観
	目標名	土砂災害対策の推進	力強い農林水産業を支える基盤整備の推進	地球温暖化緩和策の推進
	指標名	山地災害から保全される危険地区数	林道等の整備により効率的な森林施業等が可能となる森林面積	森林吸収量確保に向けた年間森林整備面積
	目標値	352地区	186千ha	10,800ha（毎年）



静岡県社会資本整備重点計画における位置付け

第3期重点計画（H25～H29）

		①治山事業	②森林整備事業(林道)	③森林整備事業(造林)
静岡県社会資本整備重点計画	分野名	安全・安心	活力・交流	環境・景観
	目標名	土砂災害に強い基盤整備	農林水産業の新たな展開	温室効果ガス排出削減の推進
	指標名	山地災害防止施設の整備率	林道等の整備により効率的な施業等が可能となる森林面積の割合	吸収源対策となる森林整備面積
	目標値	80.1%	100%	10,000ha/年



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

5

①治山事業

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

治山事業の実施

山地災害の未然防止を図るため、溪間工や山腹工を77区域で整備

溪間工の施工事例

●着手前



●対策後



■予防治山事業：藤枝市瀬戸ノ谷(横沢)

山腹工の施工事例

●着手前



●対策後



■予防治山事業：静岡市清水区布沢(布沢)

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

6

①治山事業

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

漁場保全の森づくり事業（保安施設事業）の実施

漁場の保全に資する事業を68区域で実施

防災林造成工事の施工事例

●着手前



■写真 防災林造成事業：磐田市大瀬

●対策後



森林整備工事の施工事例

●着手前



■写真 保安林改良事業：静岡市葵区崩野

●対策後



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 7

①治山事業

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

区分	事業名	当初現況値	最終目標値	最終実績値
治山事業	治山事業	0区域	77区域	77区域
	漁場保全の森づくり事業（保安施設事業）	0区域	68区域	68区域
計		0区域	145区域	145区域

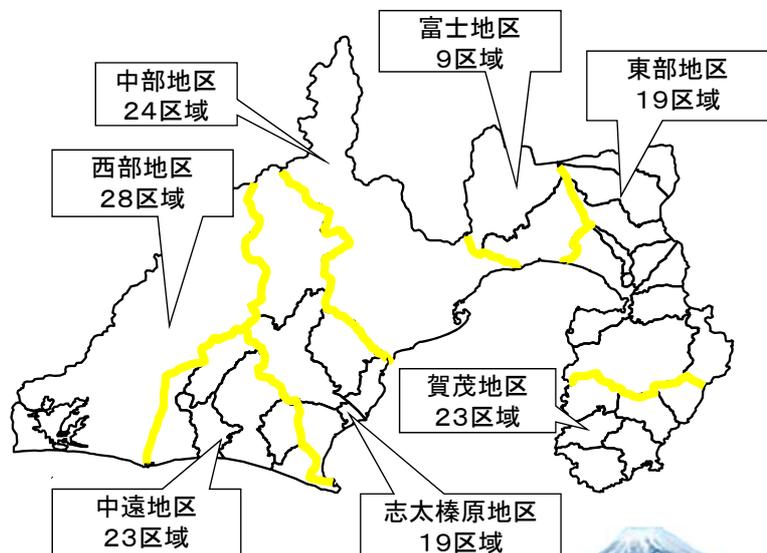
事業実施状況

・実施内容

治山ダム工 133基
山腹工 20.65ha
森林整備 1,168ha ほか

事業効果の発現状況

- ・山地災害の未然防止と地域の安全・安心な生活環境の創出に寄与
- ・漁場への土砂流出を緩和し、漁場環境の保全に寄与



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 8

②森林整備事業（林道事業）

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

林道の開設（新設）

森林の公益的機能発揮のための「森林整備の促進」と「木材生産性の生産性向上」による森林資源の循環利用の推進を目的に林道開設を実施

●着手前（支障木伐採後）



●開設後



■林道 大尾大日山線(周智郡森町嵯塚)

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

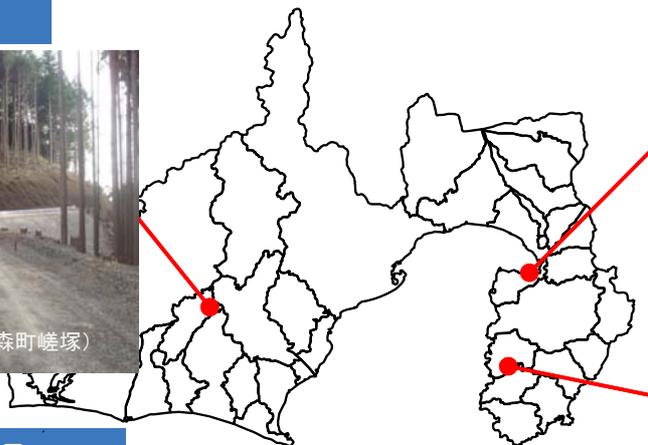
9

②森林整備事業（林道事業）

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

区分	事業名	当初現況値	最終目標値	最終実績値
林道事業	森林整備事業	0区域	11区域	11区域

<代表的箇所>



事業の実施状況

- ・林道開設(9路線) 11,089m
改良(2路線) 2箇所、舗装282mを整備。

事業効果の発現状況

- ・事業実施路線の利用区域内で約730haの森林整備が実施された。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

10

③森林整備事業（造林事業）

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

森林整備の実施（間伐等）

山地災害を未然防止するとともに、下流の漁場・農業用水施設への土砂の流入緩和等を目的に水源地域等における森林整備を実施

●着手前（間伐前）



●実施後



■静岡市葵区諸子沢

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 11

③森林整備事業（造林事業）

静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画 H22～H26

区分	事業名	当初現況値	最終目標値	最終実績値
造林事業	森林整備事業	0区域	1区域	1区域
	農業用水保全の森づくり事業	0区域	1区域	1区域
	漁場保全の森づくり事業	0区域	1区域	1区域
計		0区域	3区域	3区域

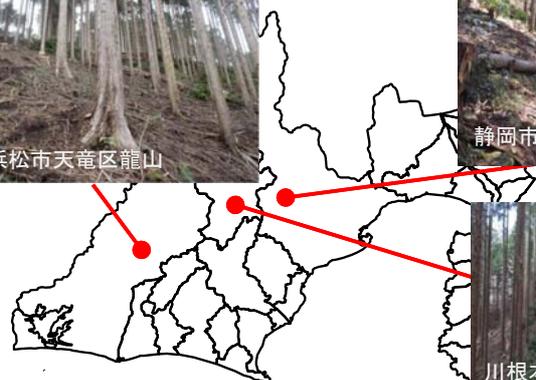
事業の実施状況

- ・森林整備1,494haを実施
- ・森林作業道12,985mを開設

事業効果の発現状況

- ・森林吸収源としての森林整備の実施により地球温暖化対策に寄与
- ・森林作業道等の整備により木材安定供給に向けた体制を整備

<代表的箇所>



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 11

その他の効果の発現状況と今後の方針

定量的指標の達成状況

○目標どおり事業が実施され、山地災害防止機能等の確保、増進が図られた。

山地災害防止機能等が確保、増進された区域の創設 **0地区 → 159地区**

その他の効果の発現状況

○治山施設の整備により、対策実施区域において山地災害による死者は発生していない。

○林道、森林作業道、治山施設等の整備により、森林の多面的機能の維持増進とともに利用間伐が推進され、木材の安定供給に向けた体制の整備が進んだ。

今後の方針

○山地災害対策が必要な区域が依然多く存在していることから、今後も治山事業を推進し、山地災害防止機能の向上、保安林機能の維持、回復及び漁場環境の保全を図っていく。

○森林の多面的機能の維持増進のため、間伐等の適正な森林整備を引き続き推進する。
また、森林整備の基盤となる林道、森林作業道の整備を進めることで、間伐材の搬出利用を促進し、木材の安定供給に努める。